

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)				採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	図1	C				各4×2	
		図2	B					
	2	(ア)	学習障害のことで、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すもののこと。				内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	20
	(イ)	注意欠陥多動性障害のことで、年齢あるいは発達に釣り合いなな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業に支障をきたすもののこと。						
	(ウ)	心的外傷後ストレス障害のことで、自然災害、激しい事故、犯罪の犠牲などの後に、無感覚や感情鈍化、夢のなかで再体験が起こるなどの症状が出る障害のこと。						
2	1	(ウ)					3	
	2	名称	後見	保佐	補助	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各2×6	
	対象者	精神上の障害により判断能力が欠けているのが通常の状態の者	精神上の障害により判断能力が著しく不十分な者	精神上の障害により判断能力が不十分な者				
3	1	背もたれから背中を離し、背筋はまっすぐに伸ばす姿勢。 お尻から膝頭までの距離の半分が、いすの上ののるくらいに腰かける姿勢。 足首を、膝より手前に引き、重心を前に移動させることで両足底に体重がかかる姿勢。				順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×3	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にできるだけ近づく。 ・対象を小さくまとめる。 ・支持基底面積を広くする。 ・膝を曲げ重心を下げ骨盤を安定させる。 ・足先を動作の方向に向ける。 ・大きな筋群を使う。 ・水平に移動する。 ・てこの原理を応用する。 						4つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。
4	1	(1)	胸骨圧迫	30回			各4×2	38
			人工呼吸	2回				
	(2)	回復体位	側臥位にして、下顎を前に出し、顎の下に手を入れ頸部を安定させ、上側の肘と膝を軽く曲げ、下側の足を伸ばした姿勢。				内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	
		理由	舌が落ち込み気道をふさいだり、吐物を誤嚥するのを予防するため。					
	2	①	タオル等でふき取ってから貼る。				内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	
	②	出っ張りを避けて貼る。						
	③	貼り薬をはがし、肌に残った薬剤をふき取ってから貼る。						

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	閉じられた質問	はい、いいえなどのひとことで単純な返答ができる質問であり、相手が会話することが負担な場合や具体的な内容を引き出すきっかけとして問いかける場合に用いる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
	開かれた質問	どのように、どのくらい、なぜ、といった、ひとことでは返答できない質問であり、相手に十分に話してもらい、より具体的に深く理解するために用いる。			
2	要点をまとめて簡潔に、読みやすい文字で書く。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4	
3	まちでみかける、いろいろなてんじ			6	
5	指導	授業において、コミュニケーションの基本技術を生徒が実際に活用する場面を設定し、学習した基本技術をうまく活用できていないことに気付かせたり、基本技術の活用の実感させたりして、理解を深めさせる指導が必要である。 具体的な学習活動として、例えば、非言語的コミュニケーションの基本的な知識について学習した後に2人1組のペアとなり、相手の話を聞くときの表情や姿勢が相手にどのような印象を与えるかを体験させるようなロールプレイが考えられる。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	各 9 × 2	3 6
	生徒の記述例	今回、非言語的コミュニケーションの学習活動を通して、自分自身に癖があることや非言語的コミュニケーションを普段のコミュニケーションに活かしていないことに気付いた。また、笑顔で接するだけで、相手が好意的に受け止めてくれて、信頼関係を構築できることが実感でき、コミュニケーションの基本技術の活用の仕方やうまく活用することの大切さをより深く理解することができた。これからは、日常生活だけでなく、自分が将来就きたい職業にも役立てることができるよう、意識して活用したい。			
6	介護従事者としての職業観を育成すること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 7 × 2	1 4
	サービス利用者のプライバシーや人権尊重の意義や重要性について理解させること。				

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
7	① 口蓋垂		各4×2	
	② 喉頭蓋			
	(ア) 捕食, 咀嚼し, 食塊を形成する。	内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。	各5×3	
	(イ) 形成された食塊を舌の動きによって咽頭に送り込む。			
	(ウ) 食塊が咽頭部に入り, 気道を閉鎖し, 食道へ送り込まれる。			
	3	足底が床につき, 姿勢を安定させるためにいすに深く腰かけて, 両肘がテーブルの上における状態で, 顎を引いて前傾姿勢となるようにする。	内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。	12
	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は, 体内に占める水分量が減少しているため。 ・腎臓の機能も低下しており, 水分の再吸収力が低くなっているため。 ・中枢の感覚の低下から喉の渇きを感じにくく, 水分補給がうまくいかないため。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。	各3×2
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・唇や舌などの乾燥状態や尿量を確認し, 1日の必要水分を知り, その量を摂取するよう促す。 ・水分の多い料理やおやつ, 水分補給食品などを活用するよう勧める。 ・毎食時のお茶以外にも午前・午後のお茶の時間や入浴後, 就寝前, および起床時に水分補給を行うように促す。 ・トイレを気にして水分を控えようとする高齢者には, 排泄環境や介助体制を整え, 安心して水分がとれるようにする。 ・高齢者の好みの飲料を, 口渇時にすぐ飲めるような場所に置いておく。 ・少量多頻度の飲水を心がけるよう促す。 ・高齢者自身や家族に脱水について説明し, 十分に理解してもらう。 	4つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。	各2×4	
4			49	